

地域医療 研修カリキュラム

●必修：下記のいずれか1施設または複数施設を選択する。

施設名	所在地	連絡先	宿舎の有無
尾鷲総合病院	三重県尾鷲市上野町5番25号	0597-22-3111	○
紀南病院	三重県南牟婁郡御浜町大字阿田和4750	059792-1333	○
飯山赤十字病院	長野県飯山市大字飯山226-1	0269-62-4195	○
志摩市民病院	三重県志摩市大王町波切1941-1	0599-72-5555	○
町立南伊勢病院	三重県度会郡南伊勢町船越2545	0599-66-0011	要相談
伊勢田中病院	三重県伊勢市大世古4丁目6-47	0596-25-3111	×
紀宝町立相野谷診療所	三重県南牟婁郡紀宝町井内123-19	0735-34-0011	○
鳥羽市立神島診療所	鳥羽市神島町85-2	0599-38-2033	×

研修時期：2年次

期間：連続した5週間

A. 一般目標

地域医療の特性および地域包括ケアの概念と枠組みを理解し、医療・介護・保健・福祉にかかわる種々の施設や組織と連携できる。また、地域の中で保健・医療・福祉の連携を図って患者を支え、地域に根ざした医療の姿を体験することで、地域保健・医療を必要とする患者とその家族に対して全人的に対応できる能力を身につける。

1. 患者が営む日常生活や居住する地域の特性に即した医療（在宅医療を含む）について理解し、実践する。
2. 診療所の役割（病診連携への理解を含む）について理解し、実践する。
3. へき地・離島医療について理解し、実践する。

B. 行動目標

1. 患者の認知能力や行動能力を理解し、患者の尊厳に配慮した適切な対応ができる
2. 患者の状況に応じて的確な問診、理学所見の収集ができる
3. 系統的な診察所見をもとに必要な検査を選択・結果を解釈できる
4. 治療方針の概略を立案できる
5. 患者・家族に、病状や治療方針を説明し、治療方針の同意を得ることができる
6. 患者が営む日常生活や居住する地域の特性を考慮した医療が実践できる（在宅医療を含む）
7. 個々の患者・家族のQOL及び生活を考慮した適切な指示、指導ができる
8. 訪問診察の場合に必要な診療技術を習得する（一般家庭内での効果的な診察法や家族との接し方など）
9. 一般外来および在宅医療で修得した技術が安全に確実に実施できる
10. 経験すべき症候・疾病・病態

1) 経験すべき症候

外来または病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、基本的な検査所見に基づく臨床推論と病態を考慮した初期対応を行う

- a. ショック b. 体重減少・るい痩 c. 発疹 d. 黄疸 e. 発熱
- f. もの忘れ g. 頭痛 h. めまい i. 意識障害・失神
- j. けいれん発作 k. 視力障害 l. 胸痛 m. 心停止
- n. 呼吸困難 o. 吐血・喀血 p. 下血・血便 q. 嘔気・嘔吐
- r. 腹痛 s. 便通異常 t. 熱傷・外傷 u. 腰・背部痛 v. 関節痛
- w. 運動麻痺・筋力低下 x. 排尿障害 y. 終末期の症候

2) 経験すべき疾病・病態

外来または病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療を行う。

- a. 脳血管障害 b. 認知症 c. 急性冠症候群 d. 心不全
- e. 大動脈瘤 f. 高血圧 g. 肺がん h. 肺炎 i. 急性上気道炎
- j. 気管支喘息 k. 慢性閉塞性肺疾患 l. 急性胃腸炎 m. 胃がん
- n. 消化性潰瘍 o. 肝炎・肝硬変 p. 胆石症 q. 大腸がん
- r. 腎盂腎炎 s. 尿路結石 t. 腎不全 u. 高エネルギー外傷・骨折
- v. 糖尿病 w. 脂質異常症

C. 指導体制

1. 各施設の指導責任者は、ローテーション期間を通して研修の責任を負う
2. 患者の診察、検査、治療に関する直接的指導は主治医（指導医）が行う。
3. 定期的に研修医の研修目標達成の進捗具合を点検し、適切に研修医に指示を与えるか直接指導を行う。

D. 研修方略

1. 指導医・上級医とともに患者の診療に携わる。（詳細は各施設の研修内容・方法を参照）
 - * 尾鷲総合病院、紀南病院では、入院および**一般外来**、手術、救急外来での診療に携わるとともに、診療所での診療（**在宅医療**含む）を経験する
 - * 飯山赤十字病院では、**一般外来**、救急外来での診療に携わるとともに、**訪問診療**、へき地診療所を経験する
 2. 各施設で行われるカンファレンス・勉強会には積極的に参加すること
 3. 地域を知るために、地域で開催されるイベントの他、地域との人々と積極的にかかわる時間をもつようにする
- ※詳細は各施設の項参照

尾 鷲 総 合 病 院

三重県尾鷲市上野町 5 番 25 号(電話:0597-22-3111)

病院長、臨床研修プログラム責任者:幸治 隆文

〔尾鷲総合病院の特徴と取り組み〕

該当する医療圏には一般病床を有する病院が当院しかないため非常に地域と密接しており、患者のインフォームド・コンセントや地域の開業医との病診連携も重視しています。

当院では 24 のチームを有し、各チームは他職種で編成し、医療・サービス・知識の向上に取り組んでいます。その中でも NST(栄養サポートチーム)は院内の治療のみならず、療養には栄養管理は欠かせないことや医食同源の大切さを知っていただくために院内で他の医療関係者や福祉施設従事者などを対象にしたフォーラムの開催や、市内の施設にも出張講演に出かけています。

生活習慣病チームにおいては近年クローズアップされているメタボリックシンドロームの対策と解消の講演会を地元の尾鷲市や紀北町に出かけ、住民に講演を行っています。

更に尾鷲市が主催の健康祭りに医師・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師・看護師がスタッフとして参加し市民の健康管理も行っています。

1. 研修施設

尾鷲総合病院、澤田医院、九鬼脳神経クリニック

2. 研修期間 : 1 週間～5 週間の研修期間選択

3. 研修時間 : 8:30～17:15

4. 研修方略

1) 尾鷲総合病院の地域研修は1週間ずつで内科・外科・福祉(メディカルソーシャルワーカー)・協力開業医診療を予定しています。

■ 内科では外来診療、救急診療、入院患者管理、透析患者管理等の研修を行います。最近内科診療でも臓器別になる傾向がありますが、一人の患者全体を担当することにより全人的医療を実践することを学びます。

■ 外科では主に救急診療、入院患者管理、手術の助手などを指導医・研修協力医の下で研修を行います。特に救急診療では急性腹症の診断手順や手術適応について、入院患者では術前検査や画像診断などについて学ぶことができます。

■ 福祉部門ではメディカルソーシャルワーカーと共に患者の今後の生活支援の手段を考え問題解決の方法を学ぶことができます。

■ 医師会の中で協力していただく開業医の先生と外来診療、訪問診療、加えて介護保険審査会の見学等、地域医療の現場を体験ができます。

2) 尾鷲総合病院は紀北地区の一次から二次救急に 365 日対応しており、豊富な救急医療と地域医療を体験することができます。

〔研究会等〕

曜日	研修会等
3ヶ月に1回 第2水曜日	紀北医師会カンファレンス
毎月第3木曜日	紀北医師会講演会
隔月第2木曜日	紀北紀南外科症例検討会

〔スケジュール〕

5週間

曜日 週	月	火	水	木	金
第1週	外科を中心とした外来、病棟、手術等				
第2週	内科関係の診療所・外科関係の診療所 MSWとともに病診連携・福祉事業所との連携業務				
第3・4・5週	内科を中心とした外来、病棟、処置、透析等				
その他		最終週・ 研修会	第2水曜日 医局会と紀北 医師会カンファ レンス	第2木曜日 紀北紀南外科 症例検討会 第3木曜日 講演会	
	月4回程度の宿日直勤務(平日:宿直2回、休日:日-宿直1回)				

* 休日の日-宿直は、2回とカウントする

* 宿日直手当は、2回分は尾鷲総合病院が負担する

1週間

曜日 週	月	火	水	木	金
第1週	内科または外科(どちらかを選択)を中心とした外来、病棟、処置、手術、透析等				
その他	5週間スケジュールの該当する週の場合のみ参加することができます。 宿日直については要相談				

2週間

曜日 週	月	火	水	木	金
第1週	内科または外科(どちらかを選択)を中心とした外来、病棟、処置、手術、透析等				
第2週	内科関係の診療所・外科関係の診療所 MSWとともに病診連携・福祉事業所との連携業務				
その他	5週間スケジュールの該当する週の場合のみ参加することができます。 宿日直については要相談				

3 週間

曜日 週	月	火	水	木	金
第1週	内科または外科(どちらかを選択)を中心とした外来、病棟、処置、手術、透析等				
第2週	内科関係の診療所・外科関係の診療所 MSWとともに病診連携・福祉事業所との連携業務				
第3週	内科を中心とした外来、病棟、処置、透析等				
その他	5 週間スケジュールの該当する週の場合のみ参加することができます。 宿日直については要相談				

5. その他

1) 宿泊施設

病院宿舎を利用させていただきます(利用料 無料)

2) 事前連絡

研修開始1週間前までに、来院日時の予定や質問などを下記まで電話かメールにて連絡して下さい。

3) 研修当日

午前8時に総務課(外来棟4F)にお越し下さい。

〔お問い合わせ・連絡先〕

尾鷲総合病院 総務課

電話:0597-22-3111

メール:owase-hp@city.owase.lg.jp

飯 山 赤 十 字 病 院

〒389-2295 長野県飯山市大字飯山 226-1

0269-62-4195

地域医療研修プログラム責任者 院長 岩澤 幹直

1. 研修施設

飯山赤十字病院、飯山赤十字訪問看護ステーション
へき地診療所(野沢温泉村市川診療所)

2. 研修期間

5 週間

3. 研修時間

8:30～17:15

4. 指導医： 渡邊 貴之、齋藤 俊信、富田 俊明、古川 賢一

5. 経験目標

地域保健・医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応する力を身につけるために

- 1) 在宅医療、当院においては多職種訪問チームによる在宅医療の現場を経験する。
- 2) 在宅ターミナルケアの現場を経験し、臨終の立ち合いを経験する。
- 3) へき地における医療事情・役割を理解し、診療する。
- 4) 介護保険下で老人保健、老人福祉を理解し、各施設のスタッフ、指導医とともに介護を実践する。
- 5) 一般内科外来での初診患者の診療を行う。
- 6) 救急外来で救急患者の診療を行う。

【施設の紹介】

飯山市は長野県北部、新潟県境の近くに位置していますが、四季を通じて豊かな自然があり、近隣には戸狩温泉・斑尾高原・野沢温泉・木島平・栄村などのリゾートを控える恵まれた環境にあります。当院の主な医療圏は飯山市・下高井郡・下水内郡ですが、この地域はわが国有数の長寿県である長野県の中でもさらに高齢化が進んだ地域であり、遠方まで出かけられない高齢者が多く受診されます。このような事情から、当院は地域に根ざした診療を行い、治療がなるべく当院で完結することを目指しています。

当院では医療社会事業部、訪問看護ステーションによる訪問診療・看護(在宅ターミナルケアを含む)・リハビリテーションを行っており、社会福祉施設等との連携も密接であることから、地域保健・医療に充実した研修が期待できます。

当院では訪問診療・訪問看護を中心とした地域医療を学んでいただきます。また、一般内科外来初診患者、救急外来での研修も経験できます。その結果、プライマリ・ケアについての理解も進むことが期待されます。

当院の多職種訪問チームによる訪問診療

「多職種訪問チームによる訪問診療、在宅ターミナルケアの試み」

第42回、第47回 日本赤十字社医学会総会、第18回日本在宅医療研究会、第5回北信医学会等で発表。

当院では平成 12 年 10 月より医師、看護師、理学・作業療法士、薬剤師、MSW による訪問チームを結成、訪問診療、在宅ターミナルケアを行っています。

- (1)訪問チームは訪問医師 1 名(兼務)、訪問看護師 9 名、理学療法士 3 名(兼務)、作業療法士 2 名(兼務)、薬剤師 1 名(兼務)、MSW 4 名で構成しています。
- (2)すべての訪問患者さんの主治医には訪問医師があたり、医師、看護師、理学・作業療法士、薬剤師がチームで訪問しています。
- (3)訪問看護は受持ち制で 24 時間 365 日対応、週 1 回～5 回訪問しており、月に 1～2 回の主治医の訪問診察には受持ち看護師が同行しています。理学・作業療法士による訪問は呼吸器リハを含め週 1～3 回で、ターミナルケアにも対応し、看護師との同行訪問による One-Up リハビリ、One-Up 訪問看護も行っています。薬剤師による訪問は月に 1～2 回、服薬指導、副作用チェック、医師への処方助言とともに薬剤の宅配を行っています。
- (4)令和 5 年 4 月～令和 6 年 2 月まで総利用者数は約 130 名、新規利用者数 82 名、在宅看取患者数 27 名(29%)、うち終末期がん患者数 13 名(48.1%)。
- (5)令和 5 年 10 月現在、訪問患者数 140 名、訪問診察 88 回/月、訪問看護 499 回/月、訪問リハビリ 202 回/月、訪問服薬指導 67 回/月でした。
- (6)多職種訪問チームによる訪問診療の利点
 - ①チーム全員がワンフロアにいること、メンバー同士の連携は密で、情報の共有化が容易で皆同じ思いで患者に接することができます。病棟のナースステーションのイメージです。
 - ②各職種あわせた全体の訪問回数が多く患者の状態把握、対応が迅速に行えます。
 - ③院内の元主治医、専門医、病棟との連携も良く急変時等の入退院に即対応できるなど、訪問診療、特に在宅ターミナルケアにおいて非常に有効です。
 - ④院外に自宅を病室とする 100 床の病棟があるイメージです。患者さん、介護者さんが安心して自宅療養ができ、ターミナルケアに充分対応できます。また、DPC による在院日数の短縮への有効な対応策でもあります。
 - ⑤栄養士による訪問を含む院内 NST の在宅への拡大、口腔ケアの充実、在宅呼吸管理の強化等による在宅死亡率のさらなる向上が今後の課題です。

6. 研修方略

(1) 飯山赤十字病院、飯山赤十字訪問看護ステーション

- ・対象人口約 4 万人の当院において、救急外来(夜間も含む)、総合診療外来、一般健診、乳児 健診、妊婦検診、人間ドック、健康指導などに参加する。
- ・当院の在宅医療、在宅ターミナルケアに参加する。
- ・当院訪問看護ステーションを中心にした多職種訪問チームによる訪問診療に参加し在宅医療におけるチーム医療の重要性を体験する。

＜地域医療研修をされる初期研修医へお願い＞

①内科の紹介状を持たない初診患者の診療

地域の病院としてすべての患者を受け入れることが必要なことから、紹介状を持たない患者を診療しています。主として検診で精査が必要とされた患者、発熱・腹痛など軽症患者が多いのですが、時に入院が必要な重症患者やCPAが来院することもあります。入院の必要がある患者はバックアップの医師に相談してください。

②救急外来の当直(宿直)

週1回救急外来の当直(宿直)が経験できます。こちらは強制ではありません。任意です。

救急外来のファーストタッチをお願いします。バックアップの医師がいますので、診療内容の確認や指導をしてもらってください。

③研修に関する「感想」の記載

当研修の感想をA4 用紙 1 枚程度にまとめて提出をお願いします。

(2) へき地診療所(野沢温泉村市川診療所)

へき地における医療事情、診療所の役割を理解し診療する。(火曜日)

【研修スケジュール】

飯山赤十字病院、飯山赤十字訪問看護ステーション・へき地診療所・地域の診療所等、研修医の希望により、スケジュールを調整する。

〔週間スケジュール〕

	月	火	水	木	金	土・日
朝	訪問ミニカンファランス					自由時間 飯山を知ろう (観光や、地域のイベントに参加)
午前	一般内科 救急外来	訪問研修 訪問診療 同行	一般内科 救急外来	訪問研修 訪問診療 同行	一般内科 救急外来	
午後	一般内科 救急外来	訪問研修 市川診療所 同行	一般内科 救急外来	訪問研修 訪問診療 同行	一般内科 救急外来	
夕方					一週間の 振り返り	

※ 訪問診療研修には在宅ターミナルケアを含みます。時間外も含め随時同行してください。

※ 「救急外来」「一般内科外来」を担当し、初診患者の診療を経験する。

※ 週1回程度、救急外来の当直(宿直)のファーストタッチを経験する。バックアップの医師に診療内容の確認や指導を受ける。

※ 希望により、ドック説明・指導、乳児健診、妊婦健診、なども可能です。

○ 臨床カンファレンスの開催

2ヶ月に1回、院内の研究発表、症例報告、治療手技の紹介などを中心に、地域医師会員、救急隊員、地域の介護関係者、当院職員を対象にしたカンファランスを行っています。機会があれば参加しましょう。

○ 出前講座、地域住民への健康講演会

当院の医師、看護師、理学療法士などが地域へ出かけてお話しする出前講座。市町村などが主催する健康教室での講演などがあります。地域の方の生の声を聴ける機会ですので参加しましょう。

○ 介護認定審査会

広域行政組合で行われている介護認定審査会に委員を派遣しており、月一回は当院会議室で開催されていますので、介護度の認定がどう行われているか見学でき、介護保険について学べます。

7. その他

1) 宿泊施設

・研修医宿舎(テレビ、冷蔵庫、寝具、調理器具、食器つき、冷暖房完備)を用意しておりますので、そちらをご利用ください。(家賃・光熱水費も病院負担となっております。)

2) 事前連絡

研修開始2週間前までに、来院日時の予定や質問等を下記まで電話かメールにて連絡して下さい。

〔お問い合わせ・連絡先〕

飯山赤十字病院 総務課 宮崎

メールアドレス:soumu@iiyama.jrc.or.jp

電話:0269(62) 4195 内線 2252

紀 南 病 院

三重県南牟婁郡御浜町大字阿田和 4750

05979-2-1333

院長・プログラム責任者：加藤 弘幸

担当指導医：鈴木 孝明

1. 研修施設

紀南病院、地域の診療所 等

2. 研修期間：5 週間～3ヵ月（希望によりそれ以上も可能）

3. 研修時間：8:30～17:15

〔施設の紹介〕

紀南病院での地域医療研修は、指導医のもと実際に入院患者を受け持ち、診療、管理を行うことが中心です。外来診療（回数応相談）や救急患者の対応、希望に応じて消化器内視鏡、超音波検査、グラム染色検査等の研修も可能です。

院外研修では、地域の診療所での研修や無医地区への巡回診療、高齢者の健康相談、消防救急研修などを行います。その他、受け持ち患者の居住地を訪ねて患者の生活背景や文化を知るふるさと訪問プログラムや、定期的に行われる紀南地域の医療についてみんなで話会う「ミニ・タウンミーティング」への参加など、地域と密着して、地域の皆さんと共に研修を行います。

4. 研修目標

- 1) 地域を知る
- 2) 地域に生きる人を知る
- 3) 地域の医療を知る

5. 研修方略

1) 指導医の下、病棟・救急研修、地域診療研修を行う

救急の宿直は指導医との相談の上行うこととし、宿直手当は紀南病院から支給される

2) 症例カンファレンスに参加する

3) ふるさと訪問やタウンミーティングに参加する

4) 地域の観光やイベントに参加する

5) 希望があれば鳥羽市の神島、桃取島での離島研修を行い、その際の旅費・宿泊費は伊勢赤十字病院から支給される

〔週間スケジュール例〕 ※毎週木曜日には、1 週間を振り返り、それをもとに相談のうえ次週の研修を決定します。

	月	火	水	木	金	土・日
朝	カンファレンス(新入院患者・退院患者紹介)					自由 地域を知る (観光や、地域のイベントに参加)
午前	病棟・救急 研修	病棟・救急 研修	地域診療所 研修	病棟・救急 研修	病棟・救急 研修	
午後	病棟・救急 研修	ミニ・タウンミ ーティング等	地域診療所 研修	一週間の 振り返り	病棟・救急 研修	
夕方		症例 カンファレンス				

※最終週に研修発表会で発表あり

6・評価

- ・研修現場、毎週の振り返り、研修報告会時のフィードバックによる形成的評価
- ・基幹型病院および紀南病院の評価票を用いての総括的評価

7. その他

1) 宿泊施設

医師宿舎を利用させていただきます。

2) 事前連絡

研修開始 1 か月前までに、メールにて下記アドレスに連絡して下さい。

〔お問い合わせ・連絡先〕

紀南病院 総務課 津呂橋

電話:05979-2-1333

メール metch_mie21@kinan-hp-mie.jp



医師人生で忘れられない体験を

地域研修をどう過ごしたいですか？

患者さんからの心からの「ありがとう」

地域と本気で向き合うことの「責任」

あなたが目指す「医療」とは何か

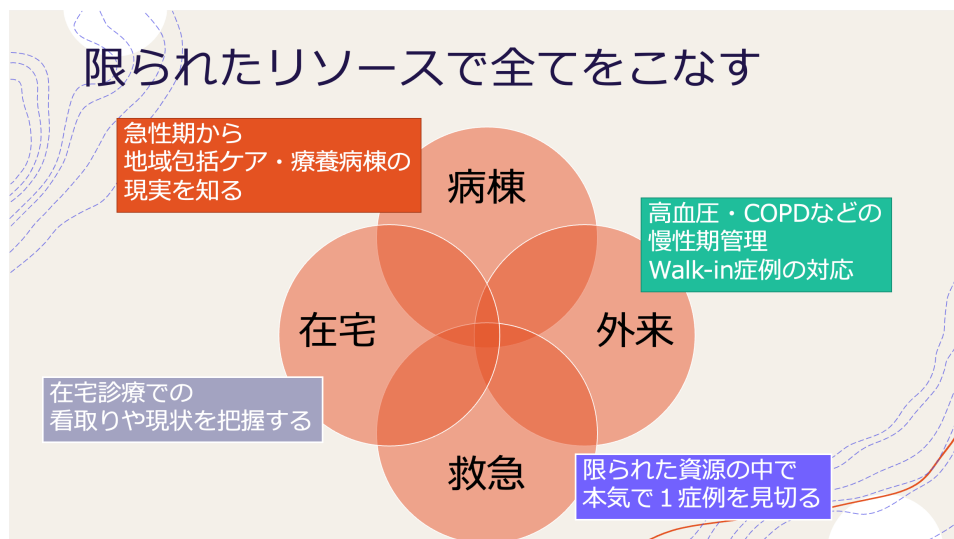
志摩で「患者を幸せにする経験」をしませんか？

研修概要

志摩市民病院は「教育」を重視しています。

メンターによる入念な目標設定と評価。毎日の振り返り、Feedback。

後輩や学生の教え方を学び「Teaching is Learning」を実践してもらいます。



研修施設	志摩市民病院、志摩市全施設（患者宅、港、真珠工場、漁船など）
施設概要	60床の地域包括ケア病棟、療養病棟
研修期間	週～1-3ヶ月（外来・病棟・在宅・地域体験をするなら1ヶ月推奨します！）
研修目標	へき地中小病院において、地域に根ざした総合診療医としての能力を学び、多職種で協働し、医師として患者をより幸せにする姿勢を身につけること。
研修方略	■外来診療（9:00-12:00、13:30-16:00） ・新患初診を担当する。 ・上級医からの手厚いfeedback。 ・フォローは新患枠で自身で行う。 ・希望があれば定期外来の見学も可能。 ■病棟診療 ・自身で外来で担当した症例 ■救急診療 1日1台程度。基本的に1st callは初期研修医。 ■在宅診療同行 週に1回、在宅診療に同行する。 ■多職種連携 ・部署案内 リハビリ、地域連携、訪問看護、栄養室など ・リハビリカンファレンスの参加 ・担当患者のケア会議、退院前カンファレンス ■抄読会 ・論文を選択し、RCTなど読み方を学ぶ。 ■朝勉強会（水木7:30-） ・希望があれば参加できる、全国の総合診療医の学びを共有する。
研修スケジュール	研修時間は8:00-17:15。土日オフ、当直なし。 ■週別（週単位の場合は都度相談します） 第1週 メンターとの目標設定、オリエンテーション（カルテの使い方、院内案内）、部署見学 第2週 部署見学、中間報告会 第3週 抄読会（金） 第4週 最終報告会、メンターとの最終振り返り ■曜日別 月：8:00 morning meeting、8:30回診、9-12午前外来、12-13昼休憩、13-16:30患者を幸せにするためのfree time、16:30-17:15振り返り 火：8:00朝カンファ、8:30回診、9-12午前外来（希望あれば内視鏡）、12-13昼休憩、13-13:30病棟、13:30-16午後外来16-16:30病棟 16:30-17:15振り返り

	水：（希望者7：30朝勉強会）8:00朝カンファ、8:30回診、9-12午前外来、12-13昼休憩、13-14病棟、14-16訪問診療、16-16:30病棟 16:30-17:15振り返り 木：（希望者7：30朝勉強会）8:00朝カンファ、8:30回診、9-12午前外来（院長訪問診療同行可）、12-13昼休憩、13-13:30病棟、13:30-16午後外来、16-16:30病棟 16:30-17:15振り返り 金：（参加推奨7：30抄読会）8:00朝カンファ、8:30回診、9-12午前外来、12-13昼休憩、13-13:30病棟、13:30-16午後外来、16-16:30病棟 16:30-17:15振り返り
宿泊施設	宿舍利用可能、家具寝具キッチンあり タオル類、身の回りのものは必要
担当医師	プログラム責任者：江角悠太（記事参照）  指導医： 林俊太 内科を主とした総合診療医。宇治徳洲会病院 救急総合診療科にて内科専門医取得。内科から救急、内視鏡までこなし、的確なfeedbackが好評。 土田真史 外科、内科をこなし、三重大学にて総合診療専門医取得。オールマイティな診療範囲とシュールな笑いが魅力です。 江角浩安 内科、皮膚科、透析を行う総合診療医。元国立がんセンター院長などの経験から多様なアドバイスが可能。
研修医の声	「いかに適当に外来やってたんだとfeedbackをもらって勉強になった」 「地域の人との毎日の夜の交流会が楽しかった、地域を感じられた」 「病院スタッフが熱くて、皆歓迎してくれ雰囲気の良い病院だった。」
連絡先	国民健康保険志摩市民病院 研修担当：清水 TEL：0599-72-5555

町立南伊勢病院

住所：三重県度会郡南伊勢町船越 2545

電話番号：0599-66-0011

院長：山添 尚久

プログラム責任者：中川 十夢

指導医：中川 十夢

1. 研修施設：

〔施設の紹介〕

●外来…内科、整形外科、小児科、脳神経内科、外科、眼科、皮膚科

●病棟…50 床(内22床を地域包括ケア病床)

●訪問看護ステーションみかん

病状の観察、療養のお世話、医師の指示による医療処置、家族等への介護支援・相談、認知症ケア、ターミナルケアをしています。

●リハビリテーション科

リハビリテーション訓練室は、広さ 134 m²であり、そこで理学療法士が外来・入院業務にあたっております。豊富な物理療法機器や歩行支援用具を取り揃え、患者さまに応じた支援を提供しております。

●栄養科

<個人指導> 平日(月～金) 予約制

<集団指導>

・糖尿病教室(月一回開催)昼食付

・高血圧教室(月一回開催)昼食付

●地域連携室

・外来診察時や入院中に当院以外で専門的な治療、精密検査等が必要となった場合に予約等の調整を行います。

・他の医療機関からの診療情報提供書、報告書の受付

・他の医療機関等から紹介された患者さまが受診・入院等をされた時、紹介元の医療機関等に当院にて受診・入院等をされたことを伝える報告書を作成し FAX します。

・入院調整のためのご家族様との面談や退院される患者さまへの介護保険の説明、ケアマネージャーとの連絡調整等を行い、患者さまが安心して退院していただけるよう支援します。

2. 研修期間：

1 週間～1 ヶ月 ご希望によりご相談ください。

3. 研修時間：

8:30～17:15

4. 研修目標

“地域のかかりつけ医”として地域との関わりを深め、1.5 次までの救急・在宅診療・健診・高齢者施設への定期診察などを担うこの病院ならではの、大きな病院ではできない経験をしてもらうことで、地域の皆さまに頼られる、あたたかみのある医療サービスについて学ぶ場の提供を目指します。

病棟・外来研修はもちろん、へき地小規模病院ならではの在宅診療、高齢者施設での診療についても研修を受けることができ、地域を知る、地域に生きる人を知る、地域の医療を知る、また病気だけでなく患者様の背景など多角的に診る姿勢を育てることを目標に研修を実施している。

5. 研修方略

- ①一般診療（入院、外来、救急）
- ②在宅医療（訪問診察・訪問看護・施設回診）
- ③予防医療（住民健診・学校健診）
- ④地区の健康教室での講話
- ⑤グラム染色をはじめとする臨床検査研修
- ⑥介護保険制度とともに学ぶリハビリテーション研修
- ⑦地域連携室研修
- ⑧南伊勢町を知る、海岸線総延長約 250kmを体感する
- ⑨その他（待合室実習、町営バスでの通院実習、公務員を知るなど）

6. 研修スケジュール

	月	火	水	木	金
朝	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス
午前	病棟・救急	病棟・救急	病棟・救急	病棟・救急	病棟・救急 内視鏡
午後	一般外来 救急・施設往 診	一般外来 救急	一般外来 救急・訪問診 察	一般外来 救急・出張診療	一般外来 救急
夕方	リハビリカンフ アレンス 薬剤勉強会			救急事例検証会 災害医療検討会	

7. その他

宿泊施設についてはご相談ください。

8. お問い合わせ・ご連絡先

町立南伊勢病院 総務係（研修担当：山本）

TEL:0599-66-0011

FAX:0599-66-1216

医療法人田中病院 伊勢田中病院

住所：三重県伊勢市大世古4丁目6-47

電話番号：0596-25-3111

院長・プログラム責任者・指導医：田中 民弥

1. 研修施設：医療法人田中病院 伊勢田中病院

〔施設の紹介〕

当院は、伊勢市及び南勢地域における、医療・福祉の連携に取り組み、重度の意識障害患者、人工呼吸器患者、人工透析患者、神経難病患者、重度の肢体不自由者の治療に対応しています。

また、訪問看護・訪問介護・居宅介護支援事業所を併設しており、在宅生活を支援しています。

地域の医療機関、附属有料老人ホームいそかぜ、他施設との間で連携し、切れ目のない医療の提供を行っており、さらに在宅療養支援病院として、連携医療機関とともに24時間体制で対応しています。

2. 研修期間：1週間～

3. 研修時間：9:00～18:00

4. 研修目標：重度の意識障害患者、人工呼吸器患者、人工透析患者、神経難病患者、重度肢体不自由患者の治療についての研修を行う。また、在宅療養支援病院として在宅診療の往診等を含めた研修を行う。

5. 研修方略

〔週間スケジュール例〕

月曜日から金曜日

午前中に外来及び入院患者の対応を行い、午後より往診の対応等を行う。

	月	火	水	木	金
午前	病棟回診 訪問診療	病棟回診 訪問診療 透析回診	病棟回診 一般外来	病棟回診 訪問診療	病棟回診 訪問診療
午後	訪問診療 病棟カンファレンス	訪問診療	訪問診療	緩和ケアチーム回診	訪問診療

※宿直日直等無し

【研修生の希望を確認し、目標立てながら以下の研修を予定する】

訪問診療

定期の訪問診療の他に、臨時の往診や看取りなどにも同行してもらう。

往診施設については 20 施設程度あり、在宅患者は 20～30 人程度ある。また、その関連施設や在宅患者の慢性期・急性期治療の対応が必要なため、診療を指導医と共にに行ってもらう。

急性期治療で入院が必要となった場合は、入院加療も引き続き担当してもらう。

入院診療

当院の入院患者は回復期・慢性期患者が多く、長期入院患者も多い。人工呼吸器の調整や緩和医療、透析管理、認知症患者のせん妄対策・対応などが必要であり、その経験をしてもらう。

急性期治療の入院もあるため、その初期治療にも関わってもらう。

一般外来研修

初診患者の予診対応をしてもらい、Assessment & Planを立てた上で、指導医と共に診療を行ってもらう。再診予定となれば再診対応も行ってもらう。

救急対応

1 日数件程の一次救急だが、救急外来の 1st call 対応をもらう。

軽症～中等症と判断されて当院に搬送されるが、限られた医療資源を活用して、当院で治療を完結できるか、急性期病院への転院を行う必要があるのかなどの判断もしてもらう。

透析管理

入院透析・外来透析患者の透析の調整やシャント管理(シャント PTA)なども希望があれば経験できる。

勉強会

勤務時間外となるため、希望があれば参加可能。

※2024 年度より医師業務体制の変更あり、現時点での仮のスケジュールである。

6. その他

宿泊施設無

持ち込む必要のある物品：白衣・聴診器など、診療に必要な医療機器

事前連絡の方法、時期(研修開始 30 日前までにメール・電話で要連絡)

7. お問い合わせ・ご連絡先

医療法人田中病院 伊勢田中病院

総務課 中村 康喜

TEL:0596-25-3111

FAX:0596-27-5771

紀宝町立相野谷（おのだに）診療所

住所：519-5834

三重県南牟婁郡紀宝町井内 123-19 番地

電話番号：0735-34-0011

院長：森本 真之助

プログラム責任者：同上

指導医：同上

1. 研修施設：紀宝町立相野谷診療所

〔施設の紹介〕 スタッフ(医師 1 名/看護師 3 名/事務職員 2 名)

外来 1 日平均 30 名程度、訪問診療あり

特別養護老人ホーム嘱託医[宝寿園・亀楽苑]

2. 研修期間：1 日～1 ヶ月 *研修生に合わせて適宜対応します。

3. 研修時間：8 時 30 分 ～ 17 時 15 分

4. 研修目標

「地域医療を通じて、日常診療に役立つ具体的な技術を学ぶ。」

#患者中心の医療の方法 # Narrative Based Medicine #医師の professionalism(P-MEX)
など

5. 研修方略

〔週間スケジュール例〕

月曜日～金曜日 午前 外来研修

午後 訪問診療・特別養護老人ホーム嘱託医・地域保健業務

*診療所以外に地域での実習内容も提供しています。

6. その他

午前、午後の勤務終了後、振り返りの時間を 15 分程度設けます。

7. お問い合わせ・ご連絡先

事務局は紀南病院内の三重県地域医療研修センターとなります。

鳥羽市立神島診療所、桃取診療所

鳥羽市神島町 85-2

0599-38-2033

担当指導医:所長 小泉 圭吾

1. 研修施設:鳥羽市立神島診療所、鳥羽市立桃取診療所

2. 研修期間:5 日間

3. 研修目標

- 1) 地域を知る
- 2) 地域に住む人達を知る
- 3) 地域での医療を知る

4. 研修方略

上記を達成するために、以下に掲げる項目について研修期間内にできるだけたくさん習得できるようにする。

1) 地域を知るためには？

・神島、答志島の地理・地形・へき地の程度を知る

地図から、島の大きさ地形を理解する

島内を隈無く歩き、島の大きさ地形を実感する

市営定期船に乗ることによって、離島のへき地の程度を実感する

・神島、答志島の産業(漁業)を知る

毎日行われているせり(市場)を見学して、漁獲内容を知る

漁船を見学して、漁の方法・内容を理解する

陸上での作業(網の修復・次の日の準備)を見て、その内容を理解する

漁師の人達と話をし、漁業を理解する

・離島の気候を知る

日々の天気図を見て天候の変化を理解し感じとる

天候と漁業の関係を理解する

・神島、答志島の歴史を知る

祭について参考文献から学ぶ

神島、答志島について記述された書籍を読む

2) 地域に住む人達を知るためには？

・できるだけたくさんの島の住人と話をする

診療所の待合室で患者さんと話をする

町中をできるだけたくさん歩き回って、自ら話しかける

宿舎・昼食場所で、従業員のの人達と話をする

老人会に参加して、高齢者達の話聞く

3) 地域での医療を知るためには？

・診療所での診察を見学・実習する

医師の診療を見学して、一人ひとりの患者さんを理解する

カルテを読んで診療内容を理解する

診療所の設備とその必要性を理解する

興味ある診療機器を使ってみる

待合室で患者さんと話をし、その背景を知る

問診、聴診、触診などの診療手技を適宜実習する

超音波診断、単純X線撮影、上部消化管内視鏡、耳鏡などを適宜実習する

・往診に同行する*

・救急患者搬送があれば、船・救急車に乗り搬送先まで同行する*

・学校医としての活動があれば同行して、見学・実習する*

・健康教室・大災害に備えるための研修などの保健予防活動があれば参加する*

・担当医師(指導医)から、様々な話を聞き出す

〔研修スケジュール〕

	午前	午後
(月) 神島	・午前 9 時診療開始 ・健康体操(毎週月・木)参加	・脳トレに参加 ・外来実習
(火) 神島	・午前 9 時診療開始 ・外来実習	・外来実習 ・往診に同行
(水)	・地域散策	・地域散策
(木) 桃取	・午前 9 時診療開始 ・外来実習	・外来実習 ・往診に同行
(金) 桃取	・午前 9 時診療開始 ・外来実習	・診外来実習 ・往診に同行

4. その他

- 1) 診療所での実習時間は午前 9 時～午後 12 時、午後 2 時～5 時とする。
- 2) 午後 12 時～2 時は、昼食および「地域を知る」「地域に住む人達を知る」時間とする。
- 3) 診療所での実習時間には、「地域を知る」「地域に住む人達を知る」ための時間を含む。
- 4) 島民からお食事などのお誘いがあった場合はできる限り断らない。
- 5) 診療所内にある書籍・文献については自由に閲覧できる。
- 6) 離島滞在中の外来診察は主体的に行う。
- 7) 患者教育やプレゼンを行ってもらふこともあるため、自分のパソコン持参が望ましい。
- 8) 服装は特に指定しないが、診療所内では白衣着用のほうが患者さんの理解は得やすい。
- 9) 週に 1 日、指導医が研修で島の外に出るためその日は各自自由にすごしてもらう。
しかし緊急があった場合は診療所の看護師と共に診療にあたってもらう。
- 10) 地域を知る目的で、海に入りたいときにはその準備(水着など)をしてくること。
- 11) 可能であれば、三島由紀夫『潮騒』を事前に読み、予習をしてくること。

〔連絡先〕

神島診療所

TEL:0599-38-2033

桃取診療所

TEL:0599-37-3051